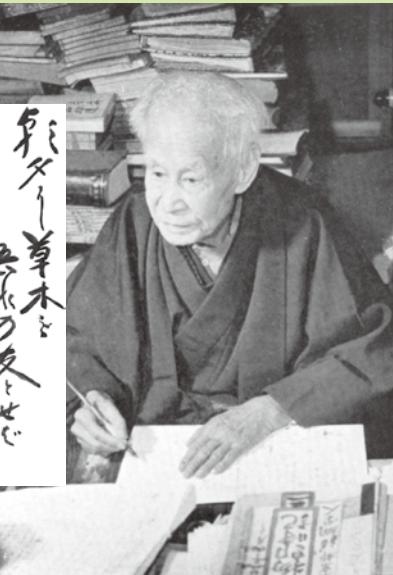


# 牧野植物図鑑原図集

限定2,000部!

『牧野日本植物図鑑』創刊80年を記念し、牧野富太郎の原図を全公開!  
歴史的にも貴重な牧野図鑑原図の最初で最後の蔵出し!



編集代表：邑田 仁（東京大学名誉教授）  
編 集：池田 博（東京大学総合研究博物館）  
加藤 健 重（獨協大学名誉教授）  
菅原 敬（首都大学東京牧野標本館）  
田中 純子（練馬区立牧野記念庭園記念館）  
田中 伸 幸（国立科学博物館）  
水上 元（高知県立牧野植物園）（五十音順）

本書は、多くの植物ファンを魅了する  
『牧野日本植物図鑑』成立のプロセスに、  
貴重な初公開の資料を基に迫ります。牧  
野の「日本の植物相を網羅した植物志を  
作りたい」という情熱は、一九四〇年の  
『牧野日本植物図鑑』に結実しました。  
今回北隆館創業130年を記念し、北隆館  
が所蔵する「原図」と、東京大学総合研  
究博物館の書庫から発見された牧野図鑑  
の植物図制作に携わった画家・山田壽雄  
の原図を初公開し、牧野図鑑成立の謎に  
迫ります。

牧野  
植物  
図鑑  
原図  
集



ハダカホウズキの牧野図鑑原図(左)と山田壽雄の原図(東京大学総合研究博物館所蔵)



Hokuryukan Publishing Co., Ltd.

北隆館

【この商品に関するお問い合わせ先】

株式会社 北隆館 営業部  
〒153-0051 東京都目黒区上目黒3-17-8

Tel. 03-5720-1161 / Fax.03-5720-1166  
URL: <http://www.hokuryukan-ns.co.jp/>  
e-mail: hk-ns2@hokuryukan-ns.co.jp

申込書 牧野植物図鑑原図集 -牧野図鑑の成立- を申込みます

ISBN978-4-8326-1054-5 C0645 ¥13,000E (注文数 冊)

ご住所 (〒 - ) お電話 ( )

お名前 e-mail

書店名

B5判・上製・カラー500頁

定価：本体13,000円+税

ISBN978-4-8326-1054-5 C0645

Hokuryukan Publishing Co., Ltd.  
Established in 1891

北隆館

## ★『牧野日本植物図鑑』成立の謎に迫る！

『牧野日本植物図鑑』の植物図が作者牧野富太郎一人の手によるものではないことは、図鑑の序文から知られていました。序文に名前の出てくる山田壽雄や水島南平がどの程度作図にかかわり、牧野からどんな指導を受けていたかはよくわかつていませんでした。この度、原図を詳細に調査し、かつ新資料が発掘されたことによって、『牧野日本植物図鑑』の植物図は、牧野自身の作図以外に、牧野の旧版図鑑からの植物図の再利用、少数の画工たち、山田壽雄・水島南平・川崎哲也らと牧野との密接な協力関係が明らかになってきました。現在の写真の図鑑ではなく、植物図の図鑑の場合、作図に費やす時間と労力は膨大です。「植物図をいかに効率よく準備するか」が、図鑑制作上、最大の課題になりました。本書は、最新の研究と新資料に基づき、『牧野日本植物図鑑』に収録された植物図が「どのように準備されたのか？」という制作プロセスの謎に新しい光を当てます。



『Curtis's Botanical Magazine』(1807年) 第1056図 (小石川植物園蔵書より)



ツノゴマ／牧野富太郎 作 (1925〈大正14〉年以前制作)  
(日本273、牧野394、牧新2281、改牧2790、新牧2790、新分類3652)

——ツノゴマ *Proboscidea louisianica* (Mill.) Thell.

觀賞用に植えられる北米南部原産の一年草。蒴果の先端が曲った角のような特異な形をした刺となり、この刺で動物や人に付着し、種子をまき散らすという。このためタビビトナカセの別名がある。牧野好みのユニークな植物である。

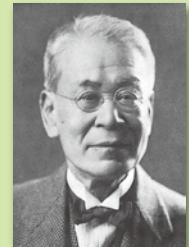
本図は『Curtis's Botanical Magazine』(1807年) の第1056図を参考に描いた図とみられる。全形図の構図はほぼ同一であるが、特徴的な蒴果はその図にはない。牧野が本植物の特徴を示すものとしてその果実を加えたのであろうか。

## 1. 牧野富太郎と植物図

- (1) 牧野図鑑の植物図  
\*図鑑の表現手法と西洋図譜の影響
- (2) 牧野富太郎原団  
\*182点全点掲載  
牧野標本と図鑑絵のかかわり
- (3) 『日本植物志図篇』『新撰日本植物図説』『大日本植物志』から受け継がれたものと、一人で図鑑制作をすることの限界

## 2. 牧野図鑑と山田壽雄

- (1) 東京大学総合研究博物館で発見された山田壽雄の植物図
- (2) 山田壽雄原団  
\*103点を掲載
- (3) 牧野図鑑の描き手たち  
\*山田壽雄・水島南平  
林幸之助・山岸新緑  
川崎哲也・山本襄二  
について



## 牧野日本植物図鑑の系譜

文久2年(1862)4月24日、現在の高知県高岡郡佐川町に生まれる。幼少時から植物に興味を持ち、独学で植物学を研究。22歳で上京し、黎明期の東京大学理学部植物学教室に出入りし、植物分類学を研究する。明治20年(1887)、友人と『植物学雑誌』を創刊。以後、精力的に研究発表に邁進し、『日本植物志図篇』(1888~1891)や『大日本植物志』(1900~1911)を刊行し、昭和15年(1940)に『牧野日本植物図鑑』(北隆館)を刊行。現在まで幾度もの改訂を重ね、植物図鑑のスタンダードとして植物ファンに広く親しまれている。

大正末期、関東大震災後に『日本植物図鑑』を、1940年集大成となる『牧野日本植物図鑑』を北隆館から刊行。太平洋戦争と戦後の困難な時代を経て1949年と1950年に増補改訂を加えました。1955年、前川文夫・原寛・津山尚の執筆を得て、『牧野日本植物図鑑増補版』を出版。牧野没後、1961年には、前川・原・津山の編集で原著は大幅に改訂現代語訳され『牧野新日本植物図鑑』に生まれ変わりました。1989年、小野幹雄・大場秀章・西田誠の編集で多くの専門家の執筆を加え、『改訂増補牧野新日本植物図鑑』へと改訂を重ねました。初版は3,206種でしたが、前川らの1961年版で3,896種、小野らの1989年版では、5,056種に増補。最新の『新分類牧野日本植物図鑑』(2017年)では、新種を増補し、1冊の植物図鑑としては、最大の5,196種を収録しています。

